

第 2 部

実現に向けた取組

1 基本目標・施策・取組

(1) 取組一覧

基本目標	施策	取組	担当課		
基本目標1 子ども主体の 学び	施策1 個別最適な学びと 協働的な学びの 一体的な充実	1-1	子ども主体の学びを行うための学校伴走支援	指導課	
		1-2	探究的な学びを実現できる教育課程の推進	指導課	
		1-3	自己選択・自己決定する授業の推進	指導課	
		1-4	認知・非認知能力の調和を目指した学びの調査・研究	教育研究所	
		1-5	運動機会の充実	指導課	
		1-6	専門職員の配置による学びを深める支援の充実	指導課 教育研究所	
		1-7	豊かな心を育む道德教育の推進	指導課	
		1-8	読書活動の推進	指導課	
	施策2 デジタル学習基盤に よる情報活用能力の 育成	2-1	1人1台端末を活用した授業改善	指導課	
		2-2	情報モラル教育の推進	指導課 少年補導センター	
		2-3	柏市情報リテラシー育成カリキュラムの実施	指導課	
		施策3 グローバル人材の 育成	3-1	外国語を学び、多様な他者と触れ合う機会の創出	指導課
			3-2	英語力を高める授業の推進	指導課
			3-3	地域連携カリキュラムの推進	指導課
	3-4	市立柏高等学校におけるキャリア教育	市立柏高等学校 教職員課		
基本目標2 連続性のある 学びの実現	施策4 小中一貫教育の推進	4-1	中学校区による連携強化	指導課	
		4-2	義務教育学校の設置	教育政策課 教育施設課	
		4-3	小中ギャップの緩和	児童生徒課	
施策5 幼保こ小連携の推進	5-1	幼保こ小協働による架け橋期教育の充実	教育研究所		
基本目標3 多様な教育 ニーズへの 対応	施策6 個別の支援が 必要な児童生徒 への対応	6-1	教職員の特別支援教育に関する専門性の向上	児童生徒課	
		6-2	専門職員の配置による支援の充実	児童生徒課	
		6-3	教育的ニーズに応じた支援の充実	児童生徒課	
		6-4	医療的ケア児への支援の充実	児童生徒課	
		6-5	家庭生活に困難を抱えている児童生徒への対応	児童生徒課	
	施策7 不登校児童生徒 への支援の充実	7-1	小学校への校内フリースクール (校内教育支援センター)の整備	児童生徒課	
		7-2	教育支援センター事業の拡充と支援の充実	児童生徒課	
		7-3	専門職員の配置による相談・支援体制の整備	児童生徒課	
		7-4	学びの多様化学校の調査・研究	児童生徒課	
		7-5	地域や団体と連携した不登校支援の推進	児童生徒課	
	施策8 いじめ対策の充実	8-1	早期発見・解決に向けた体制の整備	児童生徒課	
		8-2	専門職員の配置による相談・支援体制の整備	児童生徒課	
		8-3	教職員研修の充実	児童生徒課	
		8-4	いじめ防止に向けた啓発事業の推進	児童生徒課 少年補導センター	
	施策9 日本語支援の充実	9-1	日本語を母語としない児童生徒への支援の充実	指導課	

基本目標	施策	取組	担当課
基本目標4 学びを支える 教育環境の 構築	施策10 働きがいのある 職場づくりと業務の 適正化	10-1 教職員の働き方改革の推進	教職員課
		10-2 人的サポートの充実	教職員課 学校教育課
		10-3 校務の情報化の推進	指導課 教育研究所
		10-4 電話対応業務の体制強化に向けた見直しの実施	学校教育課
		10-5 学校徴収金事務の負担軽減	学校財務課
	施策11 教職員の資質・ 能力の向上	11-1 学び続ける教職員を支える研修の充実	教育研究所
		11-2 ICTを活用した授業改善の推進	指導課
	施策12 魅力あるイチカシ づくり	12-1 キャリア教育・国際理解教育の推進	市立柏高等学校 教職員課 教育政策課
		12-2 教育環境の充実	市立柏高等学校 教職員課
	施策13 安全・安心な学校 施設の充実	13-1 学校施設の更新・整備	教育施設課 学校財務課
		13-2 教室のICT環境の整備	指導課
		13-3 学校遊具の老朽化対策の推進	学校財務課
		13-4 学校施設の複合利用可能性の検討	教育政策課
	施策14 学校の適正規模・ 適正配置の推進	14-1 学校の適正配置とあり方の検討	教育政策課 教育施設課
		14-2 教室不足への対応	教育政策課 教育施設課 学校教育課
14-3 通学路の安全対策の実施		児童生徒課 教育政策課	
施策15 健康を支える給食と 食育の充実	15-1 学校給食施設の整備	学校給食課	
	15-2 食育の充実	学校給食課	
基本目標5 家庭・地域との 連携・協働の 推進	施策16 コミュニティ・ スクールの活性化	16-1 地域学校協働活動の推進・支援	学校教育課
	施策17 子どもの居場所 づくり	17-1 アフタースクール事業の推進	アフタースクール課
		17-2 朝の児童の居場所づくり	アフタースクール課
		17-3 夏休み子ども教室の充実	生涯学習課
	施策18 家庭への支援	18-1 就学援助費の支給	学校教育課
		18-2 制服のリユース	学校教育課
		18-3 みんなの子育て広場の充実	生涯学習課
	施策19 防災体制の整備	17-2 (再掲) 朝の児童の居場所づくり	アフタースクール課
19-1 学校における防災体制の強化		児童生徒課	
		19-2 地域と連携した訓練等の実施	児童生徒課

※用語の使い分け

推進	(政策やプロジェクト等の) 物事を積極的に前に進める
充実	(既存の制度やサービス等の) 内容や質を豊かにする
整備	(インフラや体制等の) 必要なものを整えて使える状態にする

(2) 各ページの見方

本計画の第2部では、柏市の学校教育が目指す子ども像の実現に向けた基本目標ごとに、施策と取組の内容、その成果や取組状況を確認する指標を記載しています。

基本目標1 子ども主体の学び

目指す姿

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。児童生徒が自らの興味・関心、自身の理解や進度に合わせて学びを調整しながら、探究的に学びに取り組めるようにすることで、必要な資質・能力を育成し、次世代を担う持続可能な社会の創り手を育成します。

各基本目標において、目指す姿を記載しています。

目指す姿では、柏市の学校教育が目指す子ども像の実現に向け、どのように取り組んでいくかを記載しています。

施策1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

現状と課題

グローバル化や情報化など、子どもを取り巻く社会の急激な変化に対応するため、知識を一方向的に習得するだけでなく、一人一人の資質・能力や興味・関心に応じた学びを保障するとともに、多様な価値観に触れながら課題を解決していく学びが求められています。児童生徒が主体的・自律的に学び力を育成する「個別最適な学び」と、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現させていくことが求められています（p.70参照）。

柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針での方向性

- 学び続ける力（アウトプット、主体性、多様性を重視した学び）を日常の授業で育成
 - 認知能力（基礎的な知識・技能）（*）、非認知能力¹⁴（協調性や忍耐力などの社会情緒的スキル）の育成
- （*）認知能力には、思考力・判断力・表現力等も含まれます。

取組

1-1 子ども主体の学びを行うための学校伴走支援

指導課

子ども主体の学びを行うため、各校や中学校区単位での課題やビジョンを共有し、授業改善の視点を示し、学校が自走していけるよう伴走型の学校支援を行います。
また、教員が情報共有し、専門性の向上ができるよう、研修や支援を実施します。

各施策には、【現状と課題】と【取組】を記載しています。

現状と課題	施策における柏市の状況や課題を記載
取組	各基本目標や施策を達成するために取り組む内容を記載

また、施策によっては【柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針】を示しています。ここでは、基本方針における方向性の中で、施策と関連する内容を記載しています。

(3) 指標について

本計画では、基本目標や施策、取組の進捗を確認するため、指標を設定しています。

基本目標に対する指標			
	指標名	基準値	目標値
主要指標	物事に取り組んだときに、どうすればもっとよくできるか考えることのできる児童生徒の割合	小:78.6% 中:85.0%	小:90% 中:90%
	課題解決に向けて、自分で考え、自分から取組む児童生徒の割合	小:80.6% 中:78.7%	小:90% 中:90%

基本目標には、その「成果を測る指標」を設定しています。

基本目標を全体的に捉える「主要指標」のほか、各施策や取組での成果を測り、多角的な視点で基本目標の達成状況を確認する指標を「参考指標」として設定しています。

設定した基準値と目標値の考え方は次のとおりです。

基準値	計画策定時における最新の実績値 主には令和7年度もしくは令和6年度の実績値を設定しています。 ※注釈を付記している指標は記載の年度での値を設定しています。
目標値	本計画期間の満了時である令和12年度時点で目指す値 現状を踏まえ、実現可能性も鑑み、目指すべき値を設定しています。

基準値と目標値が同値の指標は、実績を踏まえ、現状を維持していくことが適当としているものです。

取組		
1-1	子ども主体の学びを行うための学校伴走支援	指導課
子ども主体の学びを行うため、各校や中学校区単位での課題やビジョンを共有し、授業改善の視点を示し、学校が自走していけるよう伴走型の学校支援を行います。 また、教員が情報共有し、専門性の向上ができるよう、研修や支援を実施します。		
指標	基準値	目標値
要請訪問 ¹⁵ やパーソナルサポート ¹⁶ の実施した学校の割合	74.6%	100%

取組には、その「活動状況を測る指標」を設定しています。

設定した基準値と目標値の考え方は基本目標の指標と同様です。

指標によっては、基準値や目標値の設定について注釈を付記しているものがあります。